

## 再開1年 先輩方のありがたさ

JM1LZT 富山俊一

去年（2017年）の12月に、30年以上さぼっていた無線を再開し、早くも1年が経とうとしています。

最初はリハビリどころか「完全な初心者」同然な状態でスタートしたものの、240グループのみなさんとの出会いが、なんとかここまで私を引っ張ってくれました。

当初はモバイルも含め「移動運用」ということを全く考えてなかったのですが、気が付けばクルマにアンテナが生え、自宅には移動運用のためのアンテナやら、マストやらがごろごろ・・・

XYLには評判悪いことこの上ないのですが、聞こえないふりの日々を楽しく過ごしています^^;

ロールコールはもちろん、電波伝搬実験、技術講習会と実に刺激的な「2度目のビギナーライフ」です。

先輩方のお話は、どれもこれも、刺激にもためにもなり、体力だけは先輩方にちょっとだけ勝っているかもしれない私の最近の「マイブーム」は移動運用です。

JA1WOB、JP1KHY 両 OM に物心ともに多大なサポートをいただき、休みの度に移動運用三昧の日々が始まって（しまっ）ています。

アパマンハムである私は、再開当初「飛ばない、聞こえない」HFに業を煮やし、またまた長期 QRT か・・・というところに差し掛かりかけていましたが、「自宅がだめなら移動してやればいいじゃない」という「考え方」は、私にすればコペルニクスの転回であり（お恥ずかしいです）、暗闇に差し込んだ一筋の光でもありました。自分一人で状況と格闘していたら、本当に再 QRT していたかもしれませぬ。

「HFDX 原理主義」とでもいうべき無線感に凝り固まっていた私に、「心地よい一撃」を与えてくださったのが、240のみなさんです。

6mの楽しさはもちろん、移動運用の楽しさやアンテナいじりの楽しさ、大切さ等々「かつての自分に無かった価値観」を見事に体現されている諸先輩方には、本当に頭が下がります。

失礼を承知で申し上げるならば「年をとっても（とったからこそ）無線は楽しめる」ことを日々実現されている姿は、私のエネルギー源であり、目標でもあります。

出来れば JJ1SXA, SXB 夫妻のように、夫婦で無線を楽しみたいところですが、どうやら私のところでは絶望的に無理そうです^^;

ただ、XYLに240のみなさんのエピソードを話すと、それなりに興味を持って聞いてはくれるのは、やはり無線を超えたところにある「お人柄」によるところが大きいと思います。

毎朝続けられている、JA1VWB, JJ1SXA 両局の QSO も、本当にたまに（私にしては）早く目が覚めた時にちょっとだけ参加させていただいています。  
ロールコールのキー局を務めるために移動されている JA1RIZ 局の行動力、まねができません。  
JA1FYQ 局の「ジェントルだけどポップ」な語り口、まねしようとしてますが、全然できてません。  
JE1VGJ 局と JARL 東京支部のイベント時、八王子で偶然お会いした時、その行動力に驚きました。  
JJ1DLU 局は、私をこの場に誘ってくださった大恩人です。  
exJA1MOA 局は「ぶっきらぼうなふりして優しい」のが、言葉の端々に感じられます。

これからも、私が気づいてないみなさんの「人としての魅力」で、「もっと遠く」へお導きください。

無線を再開して本当に良かったと、幸せをかみしめている還暦の晩秋です。